

# 睦月 愛南文芸

## みなみうわ俳句会

大根だいこん詩うたくガザかざの情勢じょうせい案あんじつつ

中川千代子

聴きくあてもなきラジオらじおつけ長ながき夜よる

木村 智子

通とおり過すぐ風かぜと光ひかりの冬ふゆ木こだ立たち

竹村 勝利

大根だいこんの輪わ切きりの厚あつさほどの幸さち

濱 初榮

童りゆうどうの派は手てなジャケッじゃけつト冬ふゆ躍おどる

清水 麗子

## 西海俳句会

秋あきさやか親類しんるい知人ちじんつつがなく

吉田 笑代

秋あきさやか孫まごの俳句はいくが新聞しんぶんに

吉田 チズエ

秋あきさやか独ひとりもいよいよ大だいの字じに

利根早智江

初空はつぞらを満みたしてをりぬ鳥とりの聲こえ

吉田 勝也

段畑だんばたのいも掘ほり廃すたれ十夜じゅうやかな

吉田 弘定

## 檳榔子俳句会

家主やぬしとて久方ひさかたぶりの秋あきまつり

吉田 朝子

日溜ひだまりにベンチベンチを移うつす冬支度ふゆじたく

泉 くらら

一日いちにちを余あまさず使つかひ冬支度ふゆじたく

五島 節子

住所録じゅうしょろくチエツクチエツクをするも冬支度ふゆじたく

山口 和子

一人ひとりには手てに余あまりたる冬支度ふゆじたく

山口 董

冬支度ふゆじたく急せかせる里さとの谷下たにおろし

濱野 康子

神留守かみるすの門かど鑄かびし神輿みこしぐら蔵くら

田中 博子

隙間すきま風かぜ小ちひさき棘とげのやうなもの

三好 ミキエ

夢ゆめをまだ少すこし残のこして冬支度ふゆじたく

吉田 モミエ

川魚かわうをの吊つられし軒端のきば冬用意ふゆようい

井上 論天

## 内海俳句会

追羽根おいはねや空そら一枚いちまいを打うち返しかえし

太田 信子

山彦やまびこに打うち返かえされし獵銃りやうじゆうかな

太田 信子

紅梅こうばいの香かほり仄ほのかに春句はるにふ

岩森 十志子

泰たいへいの夜明よあけを染そめぬ初はつ茜あかね

岩森 十志子

死亡後の手続きについては  
町ホームページをご覧ください。



愛南町  
ホーム  
ページ

### 訂正

12月号P8「ねんりんピック愛顔のえひめ2023」の  
記事で「松山坊っちゃん支部」の表記に誤りが  
ありました。訂正してお詫び申し上げます。